

目的

研究授業 協議会を通して



- ① 授業の事実から、教師が学べることを共有する
- ② 教科横断的な視点から授業改善に向けた取組を互いに提言し合う

- 1 協議会の流れ、時間、形態の確認 (10分)
- 2 グループ協議 (35分)
 - ① 拡大学習指導案に付箋を貼り授業の事実を可視化
 - ② ①を基に、授業の事実から学べることを協議
 - ③ ②を整理し、「提言」をまとめる
- 3 全体協議 (25分)
 - ① 各グループからの発表・共有
 - ② ①についての協議
- 4 まとめ (10分)
 - ① 授業者からのコメント
 - ② 指導・助言・講評
- 5 省察 (10分)

グループ協議

① 拡大学習指導案に付箋を貼り授業の事実を可視化

○時○分
学びが深まっていた所

○時○分
学びが停滞していた所

- 児童・生徒を主語にして、学びの具体的な姿を記述する
→ 児童・生徒を主体として授業を観察していくため
- 時刻を記入する
→ どの場面での学びの姿かを明確にするため

7 本時①の指導（6／8時間目）

(1) 本時①の目標

印象に残った一文を選んだ理由について、登場人物の言動を手掛かりにはっきりさせ、想像を広げながら読むことができる。（読むことウ）

(2) 本時①の展開

学習活動	☆指導上の留意点 ◇評価規準（評価方法）
1. 前時までの学習を振り返り、本時の学習課題を確かめる。	☆これまでの学習を振り返ることができるよう、学習計画表を掲示しておく。
「なでしこレオ＝レオニてん」をひらくために、一文をえらんだ理由を書こう。	
指導のポイント③ 交流のイメージを示します。	
2. 共通学習材「アレクサンダーとぜんまいねずみ」を読んで、前時に選んだ印象に残った一文の理由をワークシートに書き、交流する。	☆交流のイメージを全体で共有するために、前時に理由を見付けるのが難しそうだった児童を取り上げ、児童同士でどのように交流したらよいか交流のやり方を示す。 ☆早く書き終わった児童や理由が見付からない児童は、前時に貼った「心にとったよマーク」（ハート型の付箋）を参考にしながら書き出した理由を互いに交流する。そうすることによって、一人一人が印象に残った一文の理由を参考にしながらいよいよ自分の理由を参考にして書くことができる。交流の仕方としては、自分の書いた理由カードを置いておく。そこに交流したい相手と話し合い、順番に選んだ一文のページを開いて置き、理由を互いに話し合う。
3. 書いた理由を全体で発表し合い、理由の書き方を整理する。	☆児童から出てきた理由を、前時までに蓄積しておいた以下の観点で整理し、様々な理由があることに気付けるようにする。 ① 登場人物の言動から好きな理由を書いている。（ウ） ② 登場人物の感情から好きな理由を書いている。（ア既習） ③ 登場人物の行動から好きな理由を書いている。（カ既習）
4. 共通学習材で学んだ理由の書き方を参考にしながら、自分のお気に入りの作品から、前時に選んだ印象に残った一文の理由を「理由カード」に書き、交流する。	☆書き終わったら声に出しながら読むこととおかしいところがないかを考えさせる。 ☆共通学習材のやり方で一文を選んだ理由の交流を行う。 選んだ印象に残った一文の理由について、登場人物の言動を「理由カード」に書き、手掛かりにはっきりさせ、想像を広げながら読む。（理由カード）
5. 本時の学習内容を確かめる。	☆本時の学習内容を確かめる。

グループ 協議

② 内容と観点を焦点化し、何が学べるかを協議する

協議の内容

- ・付箋が集中している所
- ・水色と黄色が混在している所

7 本時①の指導（6／8時間目）

(1) 本時①の目標

印象に残った一文を選んだ理由について、登場人物の言動を手掛かりにはっきりさせ、想像を広げながら読むことができる。
(読むことウ)

(2) 本時①の展開

学習活動	☆指導上の留意点 ◇評価規準（評価方法）
1. 前時までの学習を振り返り、本時の学習課題を確かめる。	☆これまでの学習を振り返ることができるよう、学習計画表を掲示しておく。
「なでしこレオ＝レオニてん」をひらくために、一文をえらんだ理由を書こう。	
指導のポイント③ 交流のイメージを示します。	
2. 共通学習材「アレクサンダーとぜんまいねずみ」を読んで、前時に選んだ印象に残った一文の理由をワークシートに交流する。	☆交流のイメージを全体で共有するために、前時に理由を見付けるのが難しそうだった児童を取り上げ、児童同士でどのように交流したらよいか交流のやり方を示す。 ☆早く書き終わった児童や理由が見付からない児童は、前時に貼った「心にのこったよマーク」（ハート型の付箋）を参考に交流する。
指導のポイント① 一人一人が心に残った叙述を示す「心にのこったよマーク」により、個に応じた交流の目的を持てるようにしていきます。	☆早く書き終わった児童や理由が見付からない児童は、前時に貼った「心にのこったよマーク」（ハート型の付箋）を参考に交流する。そうすることによって、理由が見付かなくなることがある。理由が見付かなくなると、交流の仕方としては、順番に選んだ一文のページを開いて置き、理由を互いに話し合う。
指導のポイント② 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（ウ） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（ア既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（オ既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（カ既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（キ既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（ク既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（ケ既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（コ既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（カ既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（キ既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（ク既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（ケ既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（コ既習）	☆児童から出てきた理由を、前時までに蓄積しておいた以下の観点で整理し、様々な理由があることに気付けるようにする。 人物の言動から好きな理由を書いている。（ウ） 好きな理由を書いている。（ア既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（オ既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（カ既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（キ既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（ク既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（ケ既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（コ既習） ※記号は対応する指導事項を示す。
4. 共通学習材で学んだ理由を参考にしながら、自分の好きな理由を書いている。（ア既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（オ既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（カ既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（キ既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（ク既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（ケ既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（コ既習）	☆書き終わったら声に出しながら読むことでおかしいところがないかを確認しながら、自分の好きな理由を書いている。（ア既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（オ既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（カ既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（キ既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（ク既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（ケ既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（コ既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（カ既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（キ既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（ク既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（ケ既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（コ既習）
5. 本時の活動を振り返り、自分の好きな理由を書いている。（ア既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（オ既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（カ既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（キ既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（ク既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（ケ既習） 自分の理由を整理し、好きな理由を書いている。（コ既習）	☆「なでしこレオ＝レオニ展」に展示する作品を清書して完成させることを確認する。

グループ 協議

② 内容と観点を焦点化し、何が学べるかを協議する

協議の観点（例）

- ・ **学びを深めた要因**
学びを停滞させた要因は何か
 - ・ **教師の手立ての有効だった内容とその要因**
教師の手立ての不足していた内容とその要因は何か
- ↓
- 考えられる代案を検討する**

7 本時①の指導（6／8時間目）

（1）本時①の目標

印象に残った一文を選んだ理由について、登場人物の言動を手掛かりにはっきりさせ、想像を広げながら読むことができる。（読むことウ）

（2）本時①の展開

学習活動	☆指導上の留意点 ◇評価規準（評価方法）
1. 前時までの学習を振り返り、本時の学習課題を確かめる。	☆これまでの学習を振り返ることができるよう、学習計画表を掲示しておく。
「なでしこレオ＝レオニてん」をひらくために、一文をえらんだ理由を書こう。	
指導のポイント③ 交流のイメージを示します。	
2. 共通学習材「アレクサンダーとぜんまいねずみ」を読んで、前時に選んだ印象に残った一文の理由をワークシートに書き、交流する。	☆交流のイメージを全体で共有するために、前時に理由を見付けるのが難しかった児童を取り上げ、児童同士でどのように交流したらよいか交流のやり方を示す。 ☆早く書き終わった児童や理由が見付からない児童は、前時に貼った「心にくったよマーク」（ハート型の付箋）を参考にしながら書いた理由を互いに交流する。そうすることによって、早く書き終わった児童は理由が様々あることに気付くことができ、見付からない児童は理由を参考にしながら自分にぴったりの理由を見付けることができる。交流の仕方として、ワークシートを置いておく。そこに交流した順番に選んだ一文のページを開いて置き、話し合う。
3. 書いた理由を全体で発表し合い、理由の書き方を整理する。	☆児童から出てきた理由を、前時までに蓄積しておいた以下の観点で整理し、様々な理由があることに気付けるようにする。 ・登場人物の言動から好きな理由を書いている。（ウ） ・言葉遣いから好きな理由を書いている。（ア既習） ・自分と登場人物の気持ちに合わせて好きな理由を書いている。（オ既習） ・理由を詳しく書いてある理由を書いている。（カ既習）
指導のポイント⑤ 自分が選んだ本時①の理由を交流で発表し、理由を整理します。	
4. 共通学習材で学んだ理由の書き方を参考にしながら、自分の気に入った作品から、前時に選んだ印象に残った一文の理由を「理由カード」に書き、交流する。	☆書き終わったら声に出しながら読むこととおかしいところがないかを考えさせる。 ☆共通学習材と同様のやり方で一文を選んだ理由の交流を行う。 ☆「読んで印象に残った一文を選んだ理由について、登場人物の言動を手掛かりにはっきりさせ、想像を広げながら読んでみる。（理由カード）」
5. 本時の学習を振り返り、前時までの学習課題を確かめる。	☆示す作品を消書して学習計画表に記入する。

グループ
協議

③ 協議されたことを整理し、「提言」をまとめる

「提言」

- ・全教科に共通する汎用的な内容や言葉で整理する。
- ・授業改善（単元構成・本時展開も含む）に向けて必要だと思われる視点や考えていくべき事柄、取組が何かを明確にしてまとめる。

教科や学年に特化した課題については、「提言」ではなく、教科会、学年会での検討事項とする。

例えば

（国語科の授業の事実）

文章に書かれた内容と、添付のグラフから読み取ったことを結びつけて考えることに慣れておらず、十分な説明をすることができていなかった。



（提言）

複数の資料を関連付けて考察していくような学習を多く取り入れることで、「比較し関連づける」という思考力が育まれるのではないか。



まとめ

○授業者からのコメント

○○ ○○○ 教諭

○指導・助言・講評 等

○○ ○○○ 指導主事

省察

研修の目的

- ①授業の事実から、教師が学べることを共有する
- ②教科横断的な視点から授業改善に向けた取組を互いに提言し合う



省察の視点

自分自身が明日から取り組むべき授業の改善点は何か